

令和7年度第2回富岡甘楽地域保健医療対策協議会・第2回地域医療構想部会議事概要

期日：令和7年10月24日(金) 午後7時～

会場：群馬県富岡合同庁舎 1階 大会議室

1 開会（19：00）

2 議事

議題1 新たな地域医療構想について

1 新構想に関する国の検討状況 質疑等なし

2 新構想に関する県の対応

(1) 入院医療に関する構想区域 質疑等なし

(2) 在宅医療等 質疑等なし

(3) 精神医療

○構成員

資料43ページの説明で精神病床入院患者数は減少傾向にあるとしているが、これは全体的な人口が減少しているからという考え方でよいのか。

○障害政策課

全体的な人口が減少することで患者数の母数も減少していることも関連しているものと考えます。

○構成員

折れ線グラフ（精神通院認定者数）の方は、人口の減少具合からすると、かなり増加しているというふうに見ればよいのか。

○障害政策課

社会全体の様々な情勢の変化があり、精神科については、通院の需要については若干上昇しているものと考えます。

○構成員

入院患者数の減少の話になりますが、要因には人口減少もあるが、一つの要因としては、長年にわたり精神科病院では地域移行支援を進めてきたこと。また、もう一つの要因として、主な入院患者である統合失調症患者の入院が激減してきている。これまで薬物療法に関しても、ある程度効果はあるが十分な入院を経る必要があり、地域で生活できるような状況の治療ができなかったという事実があったが、20年くらい前から、向精神薬の進歩により、本来であれば入院しなければならない状況も短期間で済み、なおかつ、在宅で地域の中で生活できるという治療の進歩というのも精神科としては大きかったのかなと私は感じています。人口減少の問題もあるが、そういった状況も大きかったと思

っています。

それから、コロナを境にして、患者数の減少というのが目立つようになってきた。治療の面とは異なるが、様々な面においてコロナというものの影響が大きかったと思います。入院患者数については、治療の進歩の影響が大きかったと考えています。

逆に外来患者数の方は増えているというのは、外来患者を扱う精神科クリニックが増えてきているという点もあるのかもしれませんが。今まで精神科クリニックというのは少なかったけれど、20年くらい前から精神科を扱うクリニックが増えてきていますので、地域の中で精神科の治療が受けやすくなったという事が大きな原因ではないかと思っています。

- 議題2 かかりつけ医機能報告制度について 質疑等なし
- 議題3 病床数適正化支援事業について 質疑等なし
- 議題4 令和6年度病床機能報告の結果について . . 質疑等なし

3 閉会（20：03）